

# 砺波総合病院から



総合リハビリテーションセンター  
呼吸療法係 理学療法士  
藤吉 健史

市立砺波総合病院 ☎32-3320  
ホームページ <http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/>

## 総合リハビリテーション センター呼吸療法部門の紹介

呼吸を守るスペシャリストとして

### 「呼吸療法部門 (通称：呼吸リハ)」って？

総合リハビリテーションセンターでは、2002年から集中治療室を活動拠点とする呼吸療法専任の理学療法士を北陸で初めて配置しました。現在、学会認定の資格を有する3名の理学療法士を配置して、365日体制で、呼吸療法と超早期リハビリテーションを実践しています。このような取り組みは全国的にもまだ珍しく、注目が集まっています。

### 人工呼吸器装着中から始まる リハビリテーション (呼吸療法)

皆さん、「リハビリは病気が落ち着いてから」と思っていないですか。実は、人工呼吸器で管理され、鎮静薬で眠っている時からリハビリは必要となるのです。夜眠っている時に寝返りを全くしない人はいないと思います。実は、この何気なく行っている動作を人工呼吸中も維持することがすごく大切なことです。2〜3時間おきに姿勢を変え(体位変換)、痰が詰まらないように吸引し、関節が固くなったり血栓ができたりすること(エコノミークラス症候群)を予防するために手足を動かします。肺の合併症を予防することのようない地道な取り組みが、人工呼吸器から1日でも早く離脱するために欠かせないリハビリなのです。

### 手術を終えた直後からの 超早期リハビリテーション

私たちが集中治療室でリハビリを開始することを告げると、皆さん口をそろえて「もう動くのですか?」と目を丸くされます。不安な気持ちは分かれますが、早くリハビリを開始することにより、長く寝ていることによる生じやすい様々な合併症(廃用症候群、肺炎など)を予防することができます。手術が終わっても、すぐに元通りの日常生活が送れるわけではありません。集中治療室入室中から、支えても



手術直後からの歩行練習

らいながらでもベッドから足を下ろして座ったり、歩いたりなどの基本的な動作の練習を始めます。様々な機器につながっていたり、手術により体力が弱っていたりするので、最初は上手くできません。しかし一人一人の状況に合わせて繰り返しリハビリを実施し、1日でも早く自宅に戻れるようにサポートします。

### 最後に

当院集中治療室では、急性期の医学的治療と並行して、安全・安心なリハビリテーションを実施していくために、医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士などが力を合わせるチーム医療に取り組んでいます。チーム全体で患者さんに関わることににより、患者さんの気持ちに沿った優しく質の高い医療が提供できると考えています。これからも市民の皆さんに安心してもらえる医療を提供できるよう、スタッフ一同努力して参ります。



多職種のスタッフによる呼吸器ケア回診

## 地域医療を考えるシンポジウム

「みんなで考えよう となみ野の医療」

日時 4月16日(土) 午後2時~4時

場所 砺波市文化会館 大ホール

内容 ●基調講演

「地域医療再生への処方箋」

(城西大学経営学部准教授 伊関友伸氏)

●パネルディスカッション

市立砺波総合病院 ☎32-3320